

2026.09.02

## 短尺動画作成のためのガイドライン

---

一般社団法人外国人食品産業技能評価機構

外国人材支援チーム

### 1. 目的

本ガイドラインは、OTAFF が制作する短尺動画の品質及び表現を統一するための基準を定めるものとする。

### 2. 対象者

主な対象者は以下とする。

- 食品産業で働く外国人労働者（主として入国後 3 年未満の者を想定）
- 外国人材への教育・指導を行う者

### 3. 基本方針

#### （1）分かりやすさを最優先とする

芸術性や演出の華やかさよりも、情報伝達性を重視する。

#### （2）視覚情報のみでも理解できる構成とする

音声に頼らず、イラスト、動き、記号及び必要最小限の文字によって、内容を概ね理解できる構成とする。また、日本語能力 N4 程度の学習者にも理解しやすい表現とする。

#### （3）実際の作業現場に即した表現とする

現場で実際に行われる作業手順、安全対策、設備及び機械に基づいて表現する。

#### （4）多文化共生に配慮する

特定の国籍、人種、宗教等に関する偏見や固定観念を助長する表現を避け、文化的背景によらず理解しやすい表現とする。

### 4. 動画の構成及び表現

#### （1）基本構成

- 1 本の動画では、原則として一つの用語、一つの行動又は一つの注意点を扱う。
- 冒頭で場面や対象を示し、中心となる動作又は変化を見せ、最後に要点が分かる状態で終える。
- 複数の作業手順を扱う場合は、順序が直感的に分かるよう、動きの方向や表示位置を統一する。
- 正しい例と誤った例を比較する場合は、両者の違いが一目で分かる構図とする。

## (2) 情報量

- 一画面に表示する情報を過度に多くしない。
- 注目すべき人物、物、機械又は動作を明確にする。
- 背景及び装飾は必要最小限とし、学習上不要な動きは加えない。
- スマートフォンで視聴した場合にも、主要な動作や文字を認識できる大きさとする。

## 5. 映像・イラストのテイスト

- 教材として親しみやすく、簡潔で統一感のある表現とする。
- 過度に写実的な表現、極端なデフォルメ、アニメ調・漫画調、過度な陰影や点滅は避ける。
- 色は見分けやすい組合せとし、色の違いだけに意味を持たせない。
- 危険箇所や注意点を示す場合は、赤色、警告記号、囲み等を必要な範囲で用い、対象を明確にする。

## 6. 人物、服装及び多文化表現

### (1) 人物表現

- 外国人を描く場合は、特定の国籍に偏らない。
- 民族的特徴、宗教的特徴等を誇張しない。
- 特定の文化、国籍、性別、年齢等に対する偏見や固定観念を助長する表現を行わない。

### (2) 食品製造現場の服装

- 作業帽、ヘアネット、作業着等を適切に着用する。
- 長髪は帽子又はヘアネット内に収める。
- 指輪、ネックレス、ピアス、腕時計等のアクセサリーは着用しない。
- 作業内容に応じて、マスク、手袋、長靴、保護具等を適切に着用する。
- 企業名、商品名、ロゴマーク等は表示しない。

## 7. 労働安全及び作業表現

- 現行の安全基準及び実際の作業手順に沿った表現とする。
- 機械、設備、器具及び保護具は、用途や使用方法を確認した上で正確に描写する。
- 危険行動を描写する場合は、危険であることが明確に理解できる構図とし、誤った行動を推奨しているように見えない表現とする。
- 正しい例と誤った例を示す場合は、○・×、色、構図等を組み合わせ、色だけに依存せず区別できるようにする。
- 身体部位や危険箇所を示す場合は、対象箇所を囲みや矢印等で明確に示し、不要な説明を加えない。

以上